



ミネベア株式会社決算説明会

2004年3月期決算

2004(平成16)年 5月14日

代表取締役社長 山本 次男

1. 連結業績実績及び計画

2004年3月期 連結業績サマリー

(百万円)	2003/3期 通期	2004/3期 通期	前期比 伸び率
売上高	272,202	268,574	-1.3%
営業利益	19,352	18,104	-6.4%
経常利益	13,420	13,800	+2.8%
税引前利益	495	12,958	26倍
当期純利益	△ 2,434	6,019	-

総括 **ボールベアリング事業は前進**
電子機器事業が課題を残す

為替の影響 03/3期 → 04/3期
 USD 122.29円 → 113.97円
 タイバーツ 2.86円 → 2.79円
 売上高 マイナスイ88億円
 営業利益 マイナスイ4億円

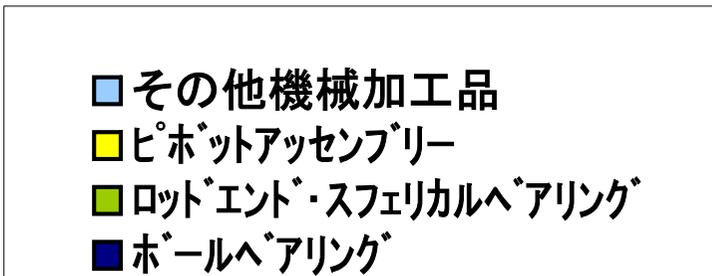
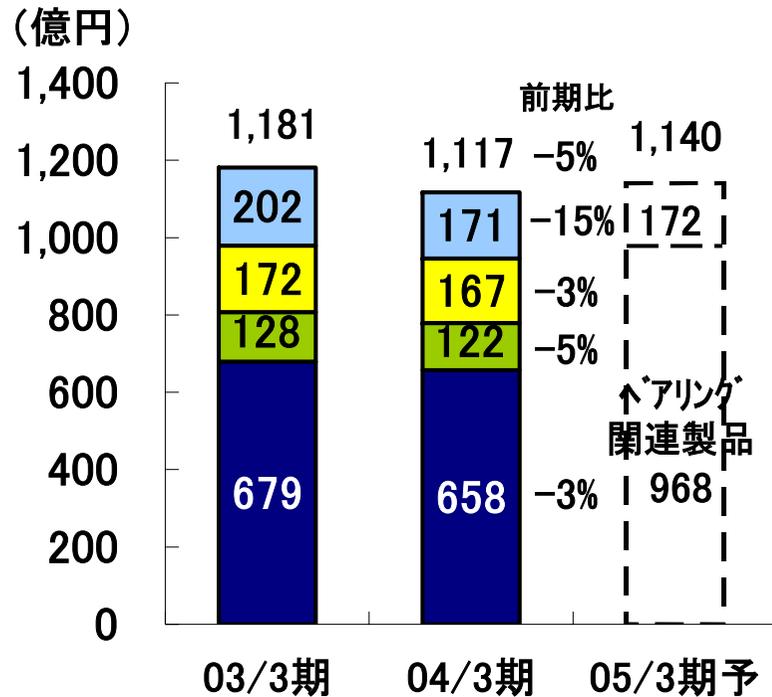
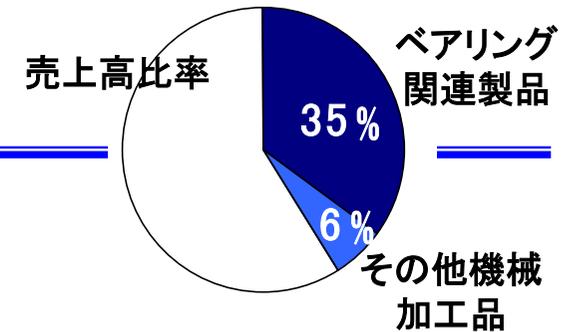
通期 セグメント別収益

(百万円)	2003/3期 通期	2004/3期 通期	前期比 伸び率
〔売上高〕			
機械加工品	118,117	111,692	-5.4%
ベアリング関連製品	97,938	94,604	-3.4%
その他機械加工品	20,180	17,089	-15.3%
電子機器	154,084	156,881	+1.8%
回転機器	79,188	86,741	+9.5%
その他電子機器	74,897	70,141	-6.4%
合計	272,202	268,574	-1.3%
〔営業利益〕			
機械加工品	18,519	19,505	+5.3%
電子機器	832	△ 1,400	-
合計	19,352	18,104	-6.4%

四半期 セグメント別収益

(百万円)	03/3期	2004/3期			4Q	4Q 伸び率	
	4Q	1Q	2Q	3Q		前年同期比	前四半期比
〔売上高〕							
機械加工品	29,085	28,606	27,059	27,434	28,593	-1.7%	+4.2%
ベアリング関連製品	24,035	23,959	23,169	23,324	24,152	+0.5%	+3.5%
その他機械加工品	5,050	4,646	3,892	4,109	4,442	-12.0%	+8.1%
電子機器	37,144	37,883	40,193	41,294	37,511	+1.0%	-9.2%
回転機器	19,734	21,458	22,184	22,209	20,890	+5.9%	-5.9%
その他電子機器	17,412	16,424	18,011	19,084	16,622	-4.5%	-12.9%
合計	66,230	66,489	67,252	68,728	66,105	-0.2%	-3.8%
〔営業利益〕							
機械加工品	4,585	4,908	4,270	5,035	5,292	+15.4%	+5.1%
電子機器	△ 929	△ 648	937	△ 503	△ 1,186	-	-
合計	3,657	4,259	5,208	4,531	4,106	+12.3%	-9.4%

機械加工品セグメント 売上高

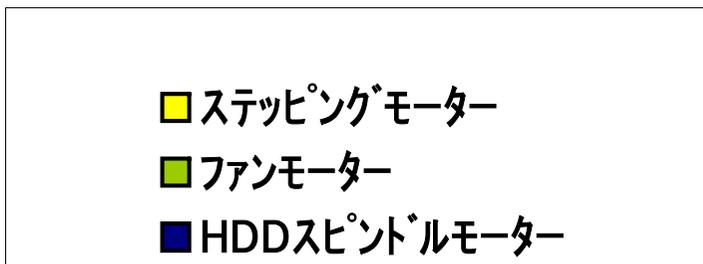
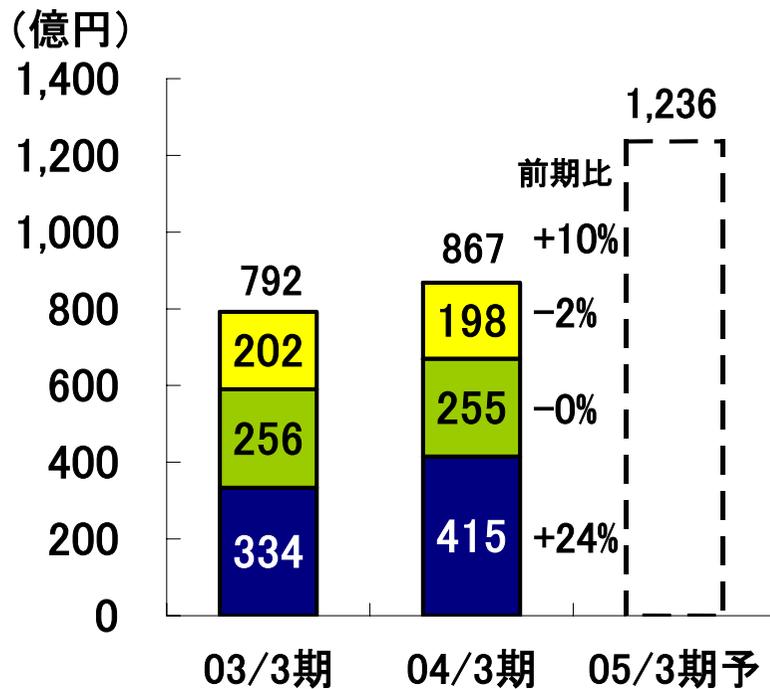
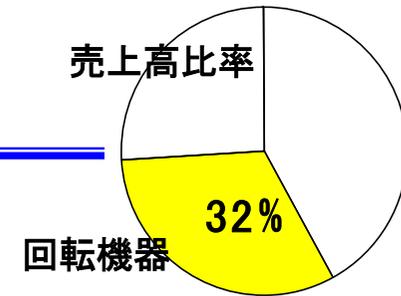


為替の影響を除いた04/3期売上高:

ボールベアリング	前期比 +1%
ロッドエンドスフェリカルベアリング	-4%
ピボットアッセンブリー	+4%

- 04/3期のボールベアリングとピボットアッセンブリーの売上高は、為替の影響と単価下落の影響を受けたが、販売数量が大幅に増加。
- 04/3期のその他機械加工品の減収の要因の一つは米国子会社の売却。

電子機器セグメント回転機器 売上高

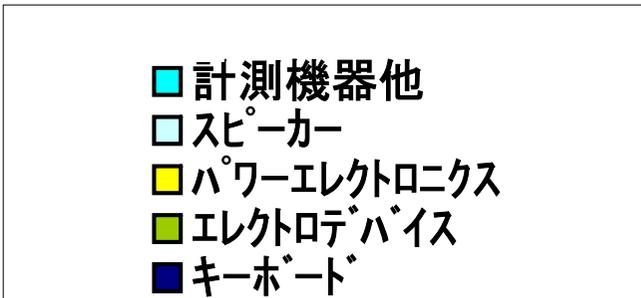
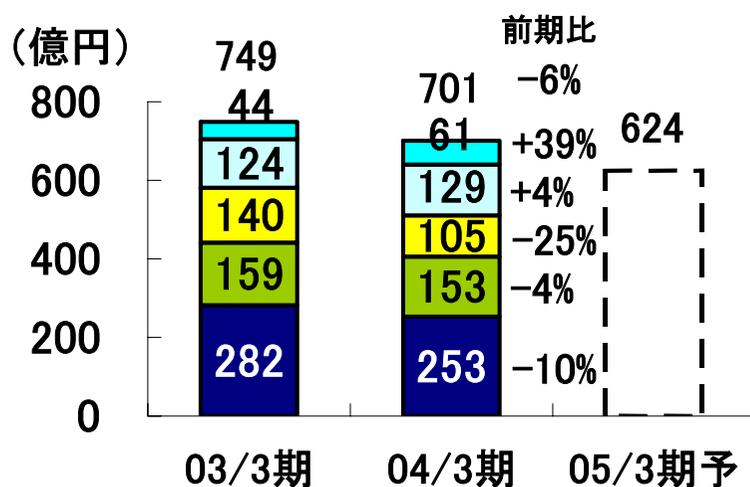
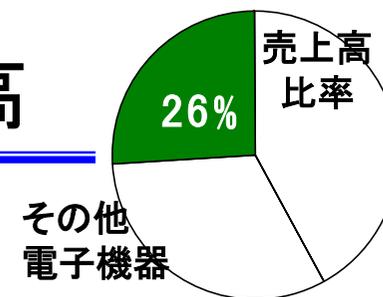


為替の影響を除いた04/3期売上高:

スピンドルモーター	前期比	+33%
ファンモーター		+3%
ステッピングモーター		-0%

- 需要増とシェア拡大により04/3期は、HDD用FDBスピンドルモーターの販売を大幅に拡大。

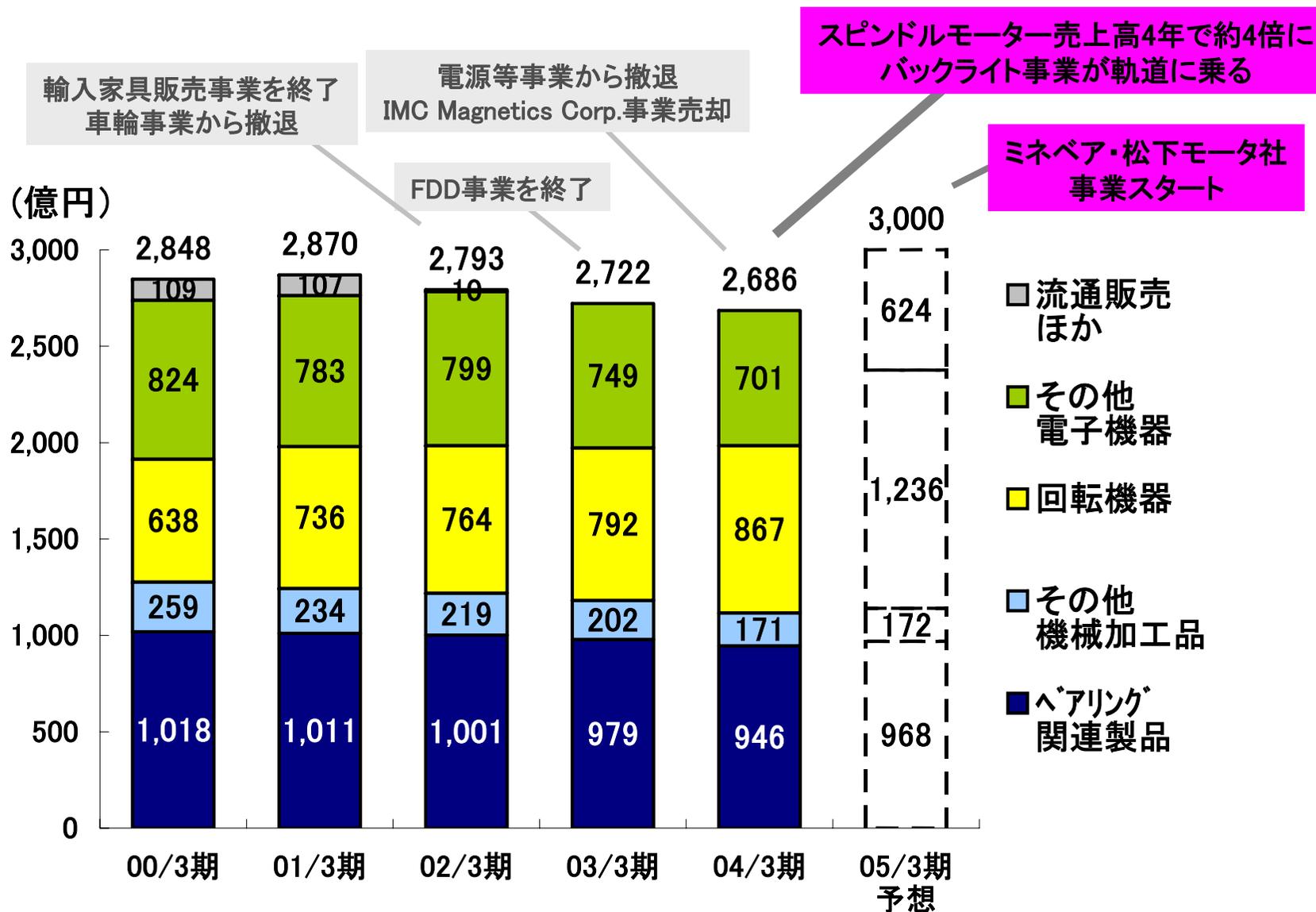
電子機器セグメントその他電子機器 売上高



為替の影響を除いた04/3期売上高:
キーボード 前期比 -3%

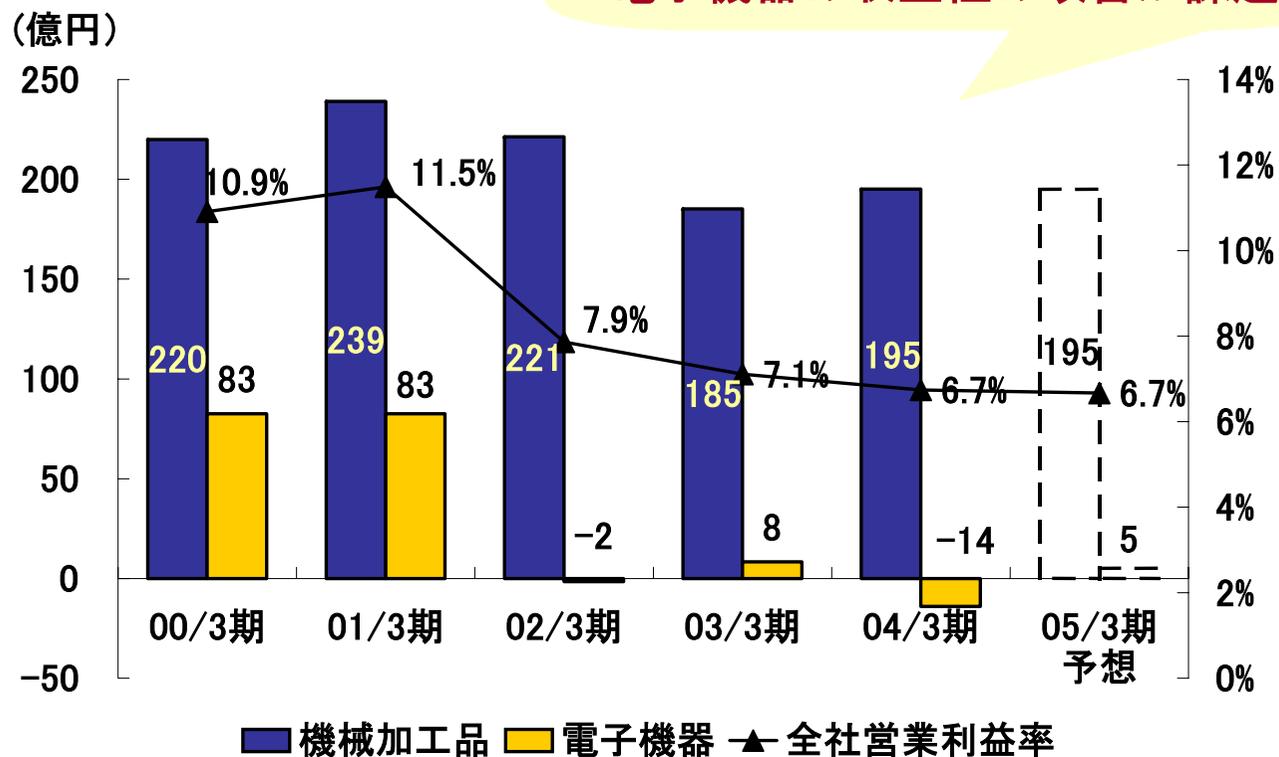
- 撤退事業(FDD、電源等)を除くと、その他電子機器部門の売上高は増加、03/3期610億円 → 04/3期621億円。
- バックライト事業が順調に拡大、プラスに寄与。
- キーボードは中国新工場の立ち上げの遅れの影響を受け減収。

売上高推移



営業利益推移

機械加工品の収益性が向上
電子機器の収益性の改善が課題



営業利益率

	00/3期	01/3期	02/3期	03/3期	04/3期	05/3期予
機械加工品	17.2%	19.2%	18.1%	15.7%	17.5%	17.1%
電子機器	5.6%	5.4%	-0.1%	0.5%	-0.9%	0.3%
流通販売ほか	7.5%	7.6%	0.0%	—	—	—
合計	10.9%	11.5%	7.9%	7.1%	6.7%	6.7%

注: グラフでは流通販売ほかの営業利益を省略 00/3期は8億円、01/3期は8億円、02/3期0億円
各セグメントの営業利益率は外部顧客に対する売上を使用

2004年3月期通期 用途別・地域別売上高

用途別売上高

	自動車	航空・宇宙	家電機器	情報通信機器	PC及び周辺機器	モータ	その他	合計
売上高比率	7.8%	9.2%	9.9%	10.6%	44.4%	5.4%	12.7%	100.0%
前期比伸び率	+6.1%	-4.9%	-3.5%	+3.9%	-1.4%	-2.1%	-4.5%	-1.3%

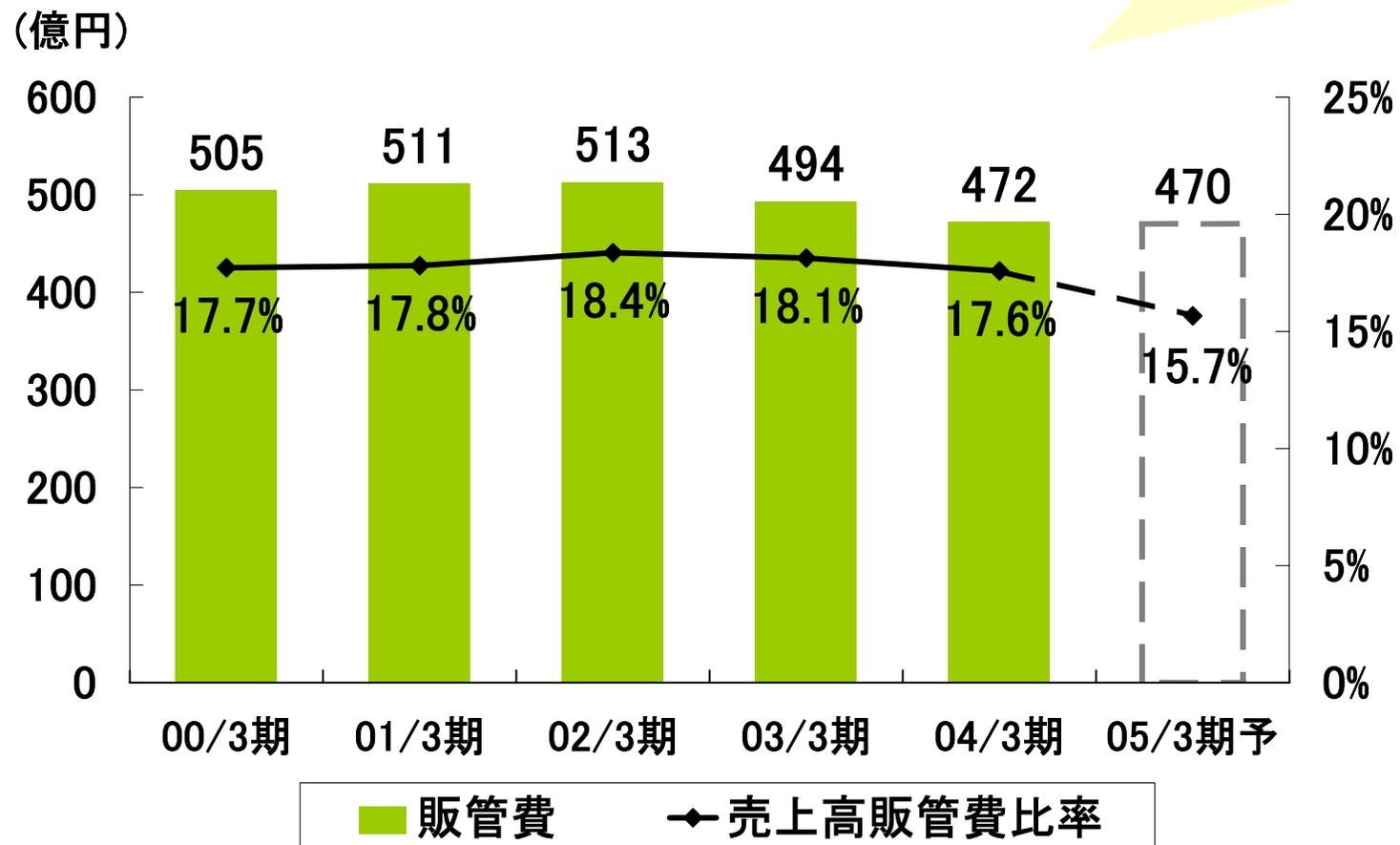
地域別売上高

	日本	アジア (除 日本)	北米・南米	欧州	合計
売上高比率	25.8%	45.3%	16.9%	12.0%	100.0%
前期比伸び率	-6.0%	+13.7%	-20.6%	-6.1%	-1.3%

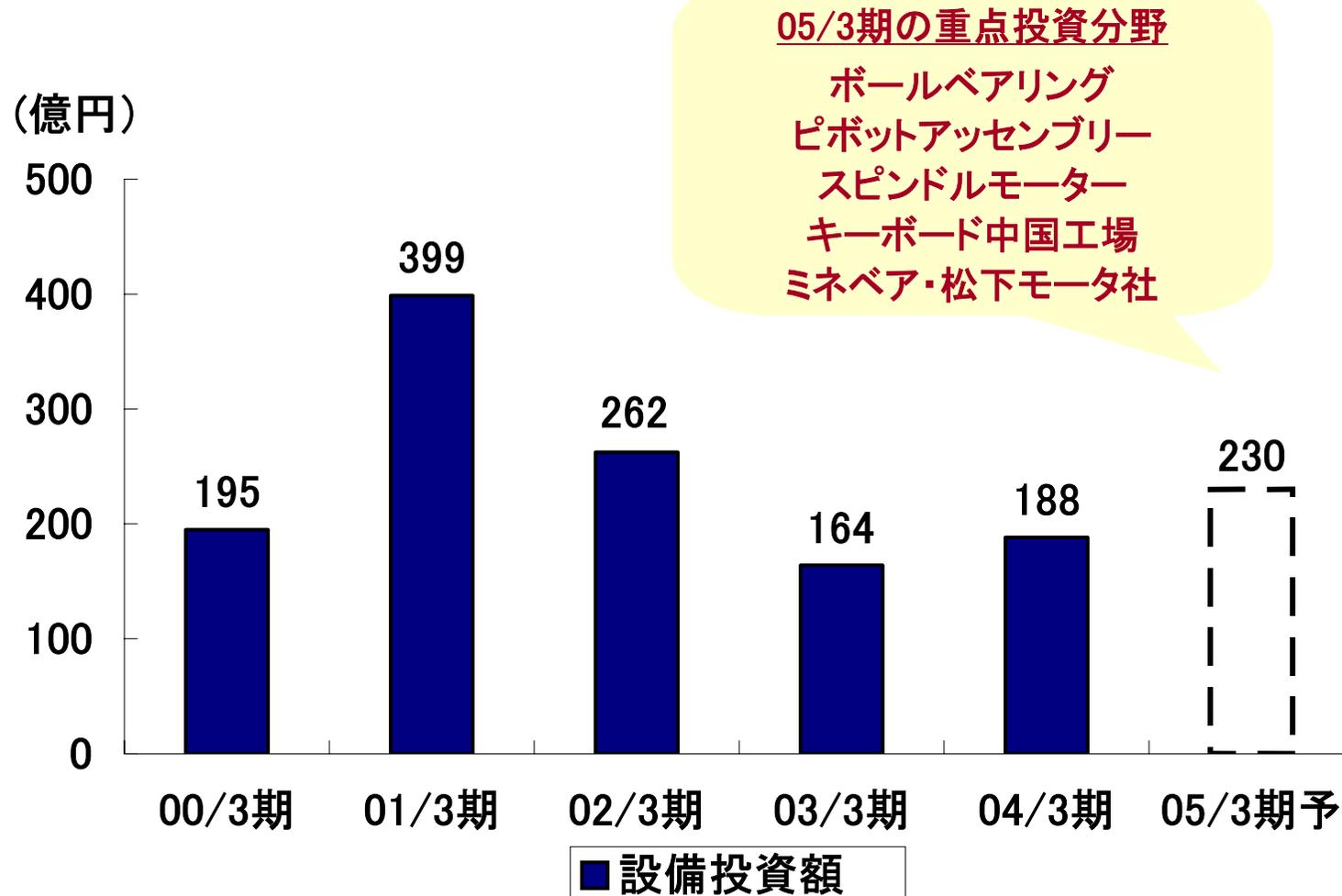
現地通貨ベースで
アジアは前年比約20%増
北米・南米及び欧州は約10%減

販管費推移

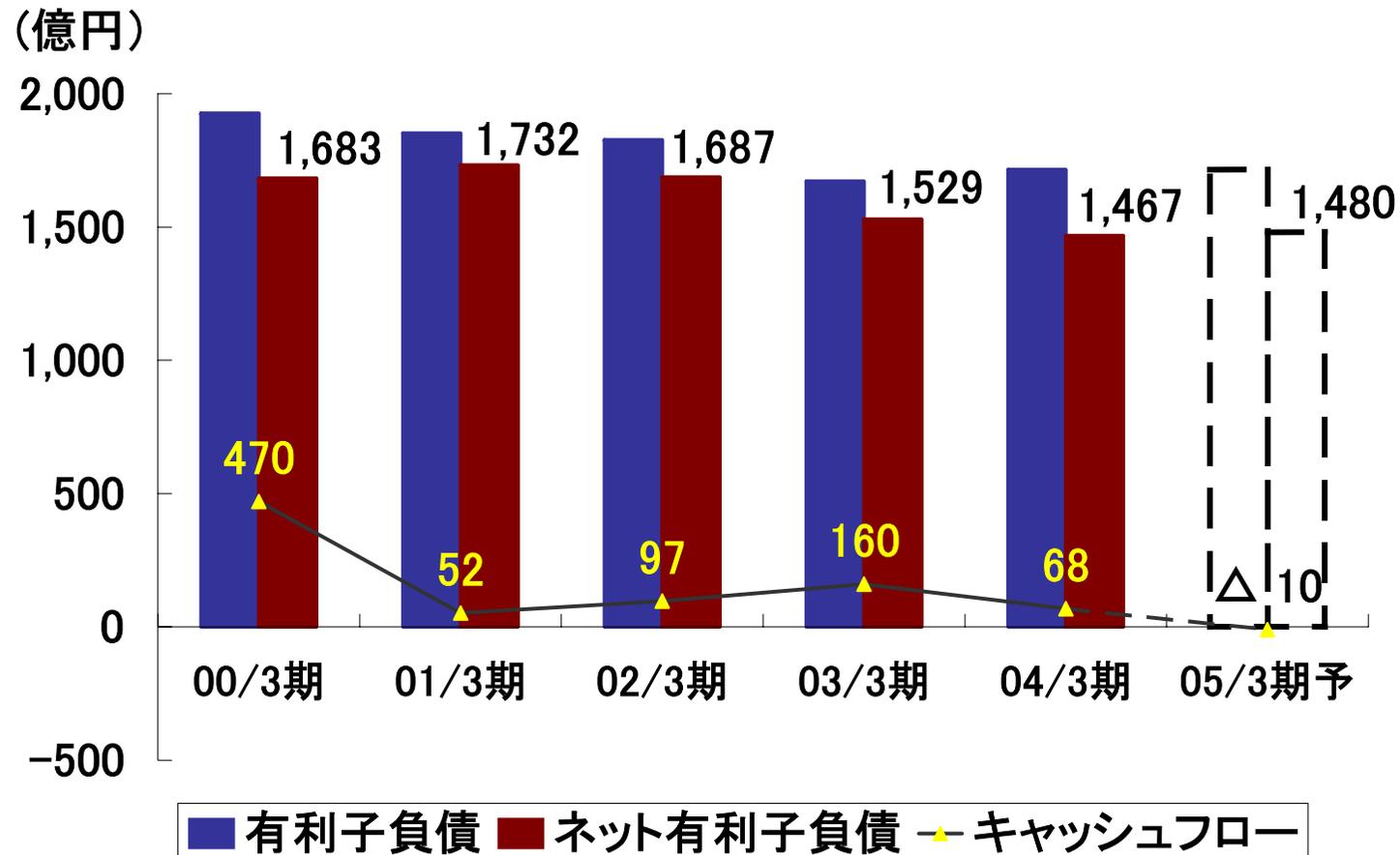
05/3期も実質削減を継続予定。



設備投資額推移



有利子負債推移



2005年3月期 連結業績予想

(百万円)	2004/3期 通期	2005/3期 通期予想	前期比 伸び率
売上高	268,574	300,000	+11.7%
営業利益	18,104	20,000	+10.5%
経常利益	13,800	15,500	+12.3%
税引前利益	12,958	14,500	+11.9%
当期純利益	6,019	9,000	+49.5%

2005年3月期 セグメント別収益予想

(百万円)	2004/3期 通期	2005/3期 通期予想	前期比 伸び率
〔売上高〕			
機械加工品	111,692	114,000	+2.1%
ベアリング関連製品	94,604	96,800	+2.3%
その他機械加工品	17,089	17,200	+0.6%
電子機器	156,881	186,000	+18.6%
回転機器	86,741	123,600	+42.5%
その他電子機器	70,141	62,400	-11.0%
合計	268,574	300,000	+11.7%
〔営業利益〕			
機械加工品	19,505	19,500	-0.0%
電子機器	△ 1,400	500	-
合計	18,104	20,000	+10.5%

2. 戦略と見通しについて

経営の戦略課題

1. ベアリングとベアリング関連製品事業の一層の強化拡充を図る。
2. 精密小型モーター事業をさらに拡充し、ベアリング関連製品と並ぶ柱に育てる。
3. 全ての製品について高付加価値製品の比率を引き上げると同時に、製品の幅を広げより広範囲な市場に対応できるようにする。

2004年3月期収益改善のための施策の達成度

施策6項目

1. ボールベアリング事業の拡大及び強化 …… ○
2. HDDスピンドルモーターの黒字化 …… × → 見直し
3. ピボットアッセンブリーの採算性改善 …… ○
4. その他の電子機器製品事業の収益性回復 …… × → 見直し
5. ファンモーター事業の一層の拡大 …… △ → 継続
6. 電源及び関連事業の終了 …… ○

2005年3月期の重点課題と施策

- 拡大するボールベアリング市場への対応
新規分野への対応を加速
- 拡大する精密小型モーター事業への対応
成長に向けた体制の構築とボールベアリング事業とのシナジー効果の拡大
- 電子機器製品事業の早期の収益改善

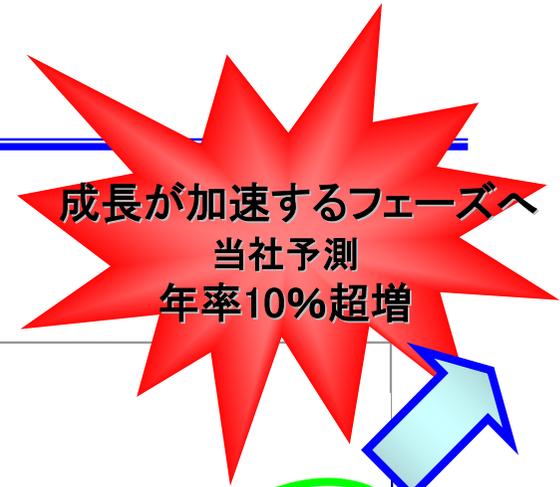
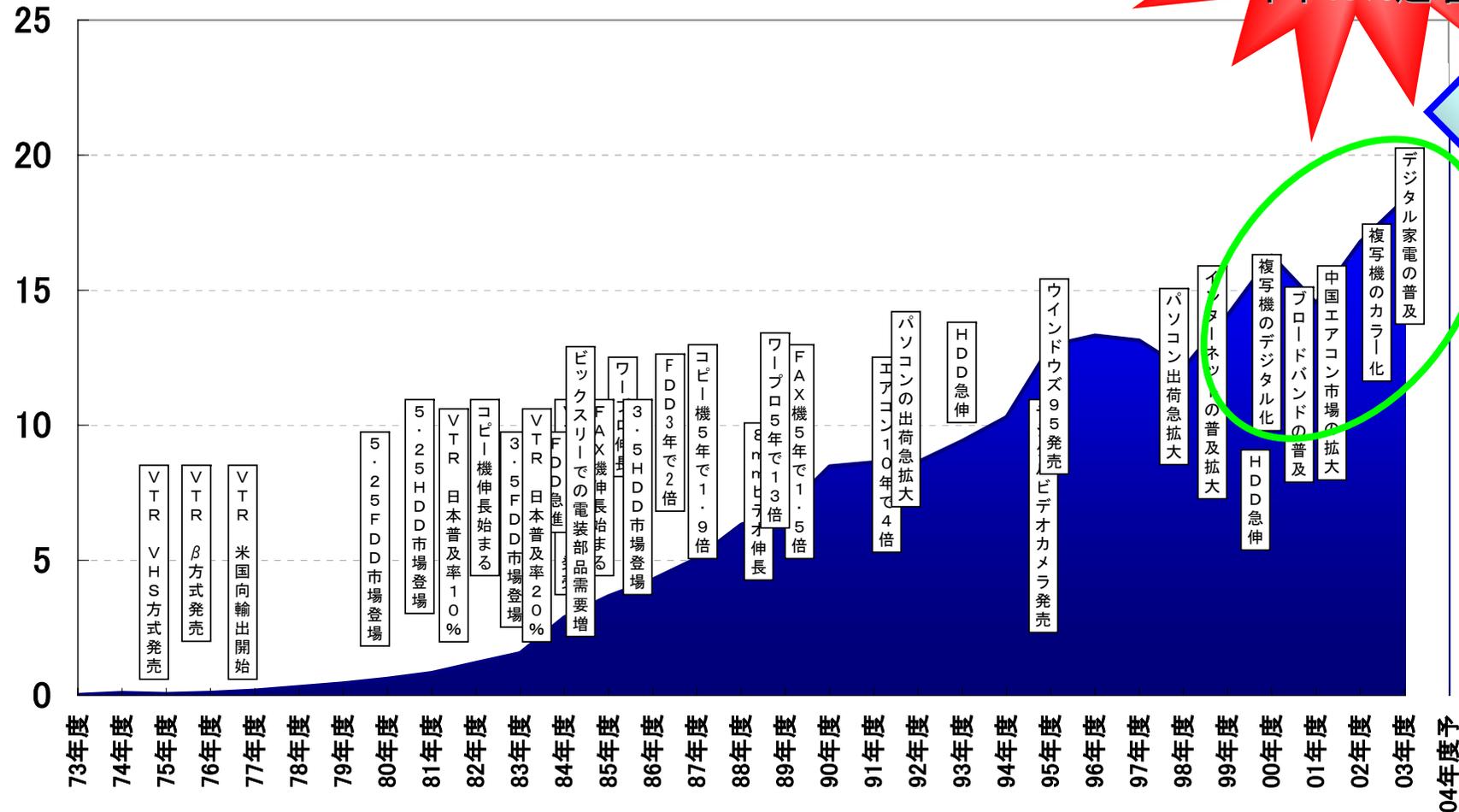


具体的施策

1. ボールベアリング事業の継続的な拡大及び強化
2. ミネベア・松下モータ社の立ち上げ
3. HDDスピンドルモーターの新製品投入と収益改善
4. 各電子機器事業の抜本的な収益改善
5. ディスプレイ周辺部品の事業拡大

ボールベアリング市場の成長性

ミネベアグループ ミニチュア・小径ボールベアリング出荷推移
(億個/年) 及び市場動向



ミニチュア・小径ボールベアリング 新たな用途と技術開発

用途がさらに多様化

デジタル家電
デジタル複合機
白物家電・厨房機器・
住宅設備
自動車電装部品

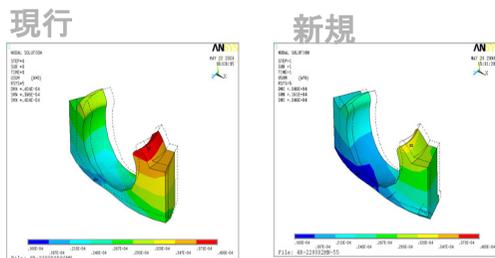
より一層の高性能化に向けて (要求される特性)

掃除機	: 高効率	⇒	高速回転
HDD(ピボット)	: 小型・薄型化	⇒	超小型ベアリング
複写機	: 静電気対策	⇒	導電性グリース
車載用	: 耐久性	⇒	温度範囲拡大

～ 開 発 事 例 ～

高速回転

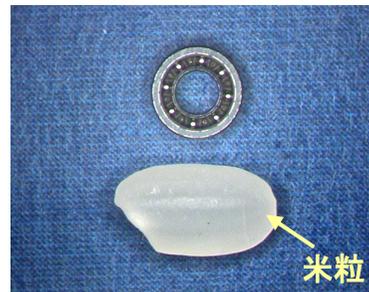
リテーナーを高速回転させたときの
変形量のシミュレーション



現行に比べ変形量が少ない

超小型ベアリング

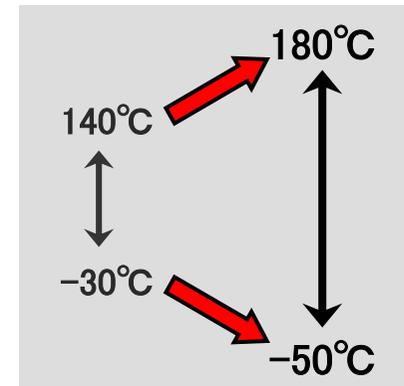
グリース潤滑からオイル潤滑へ



0.85" HDD向けピボット
アッセンブリー用転がり軸受

温度範囲拡大

車載用グリース開発



ボールベアリング事業 今後の展開

2002年半ばからの事業方針

月産1億8,000万個体制の構築

事業規模の拡大の追求
徹底的な競争力強化

成果

販売数量年14%増(直近2期)
製造コスト大幅低減

月産1億8,000万個体制の定着
さらに、その次を目指す段階へ

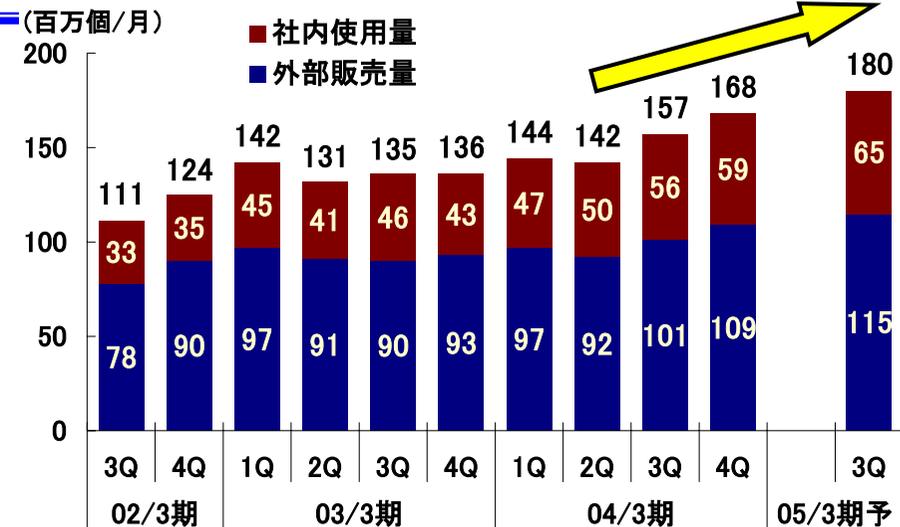
1. 販売目標を半年前倒し

2. 総合力の強化

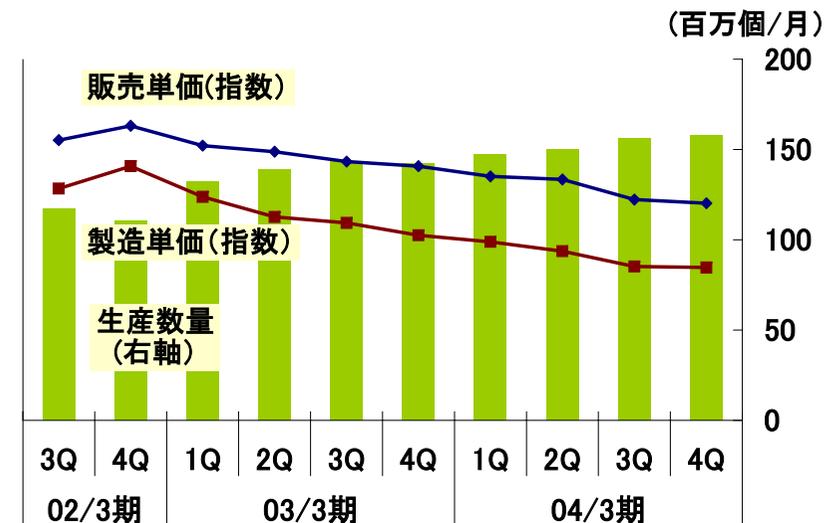
注力分野

- 開発営業の強化
- 中華圏での拡販
- コスト競争力の強化

当社ミニチュア・小径ボールベアリング 販売数量推移



当社ミニチュア・小径ボールベアリング 販売・製造単価推移

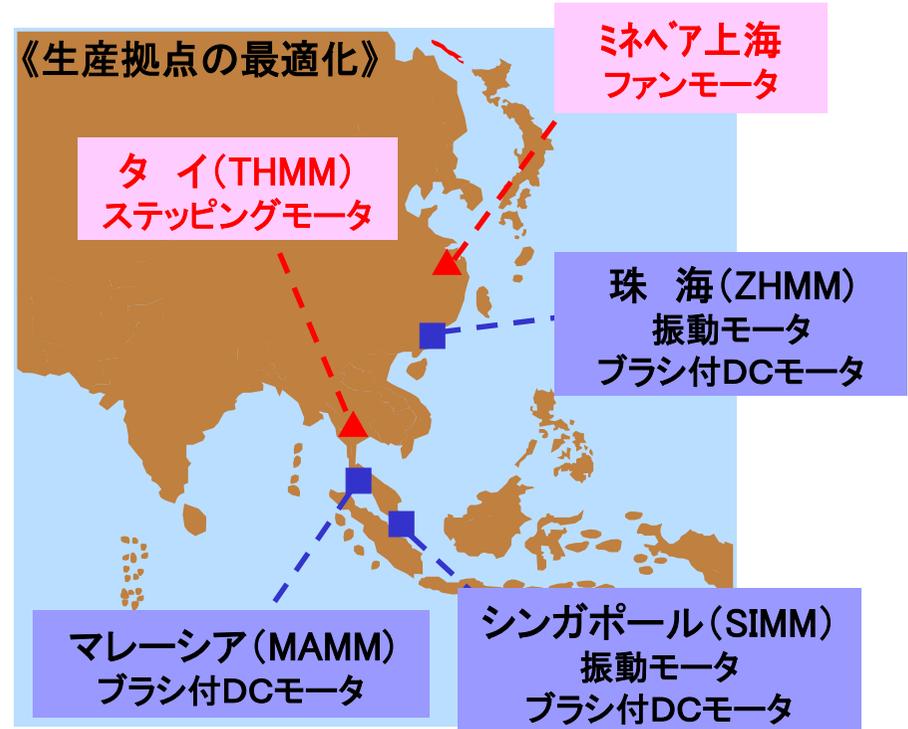


ミネベア・松下モータ株式会社 事業概要

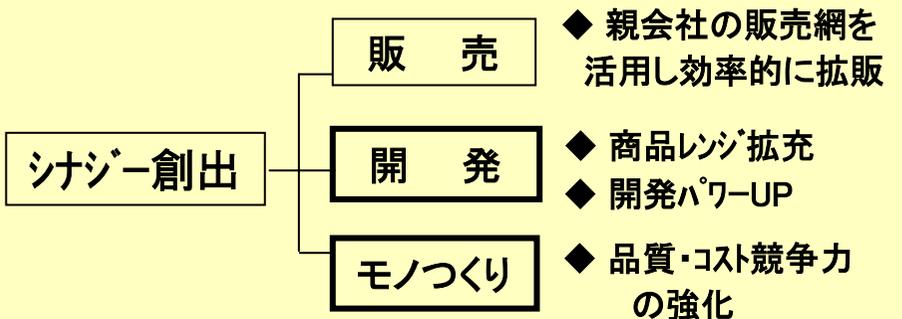
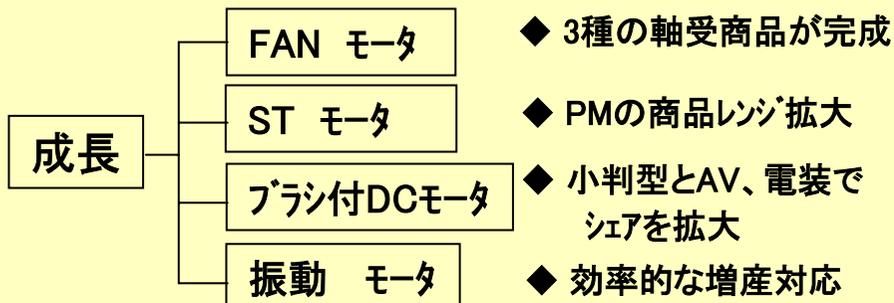
業務開始日：2004年4月1日
 本社所在地：東京都目黒区
 資本金：100億円
 出資比率：ミネベア60%、松下40%
 従業員数：9,803名（国内275名）
 2005年3月期販売計画：725億円（対親会社）

精密小型モータ市場(4商品)で世界第2位
 (金額シェア)の規模の専門メーカー

《生産拠点の最適化》



世界No.1を目指し新たな成長へ！



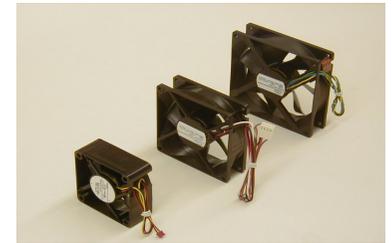
ミネベア・松下モータ 商品群

ファンモータ

■ 市場: PC、家電
AV機器 等

■ 商品例: DC軸流モータ

- 新設計ファンブレード、モータ設計最適化により風量風圧特性アップした新製品の開発
- ボールベアリング、高性能スリーブ軸受の両軸受仕様の標準装備のシリーズ



ステッピングモータ

■ 市場: 光メディア機器
OA機器、デジタルカメラ 等

■ 商品例: リードスクリュー付
ステッピングモータ

- 用途に合わせてモールドスクリュー、金属スクリューの選択が可能
- 高トルク・高停止位置精度を実現した新製品



ブラシ付DCモータ

■ 市場: AVメディア機器
OA機器、電装 等

■ 商品例: ブラシ付DCモータ

- 各種用途に対応した小型・薄型シリーズの充実
- 電装用商品レンジの拡充



振動モータ

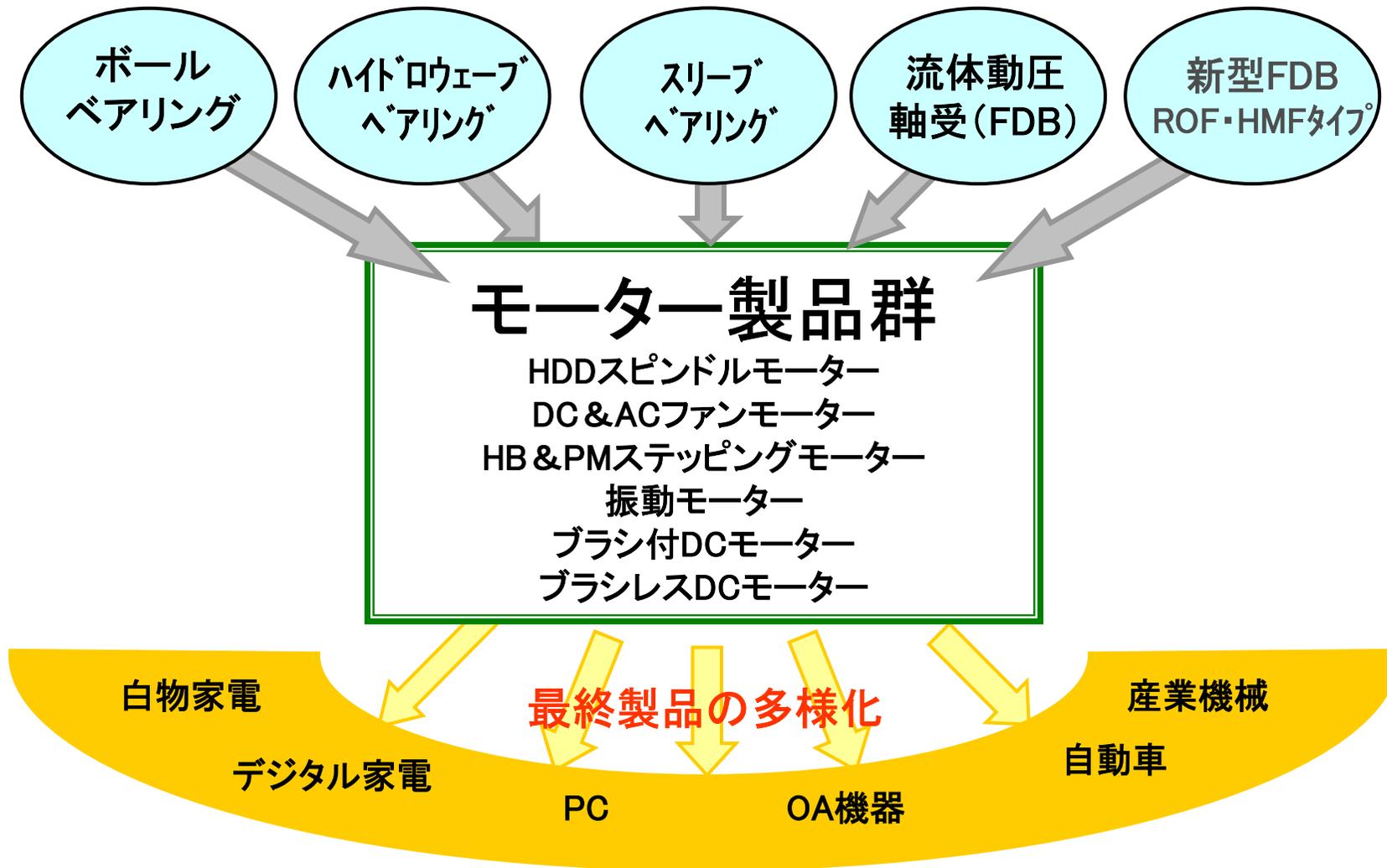
■ 市場: 携帯電話 等

■ 商品例: 振動モータ

- 特性向上を図りローコストに重点を置いた製品開発
- 小口径、高密度巻線モータによる振動量UP



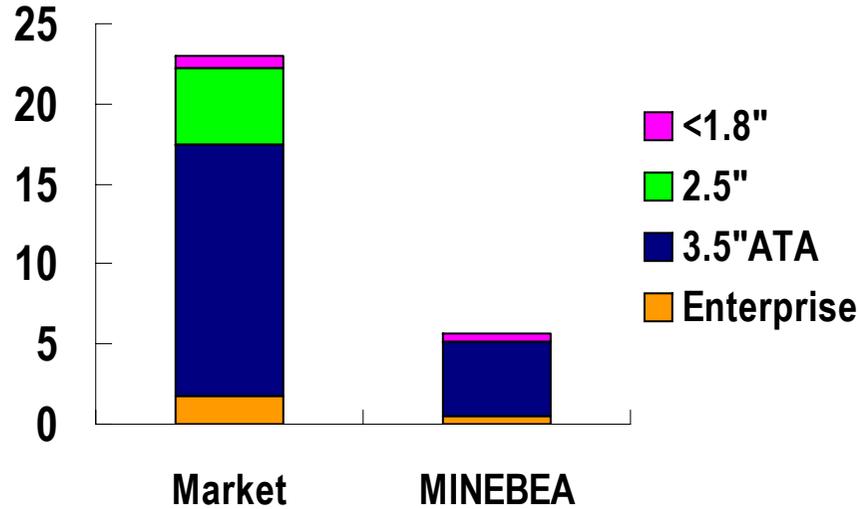
ベアリングとモーター事業のシナジー効果の拡大



HDDスピンドルモーター 今後の展開

2004年1-3月期

HDD及び当社HDDスピンドルモーター出荷台数
(百万台/月平均)



市場データ出所: TSR

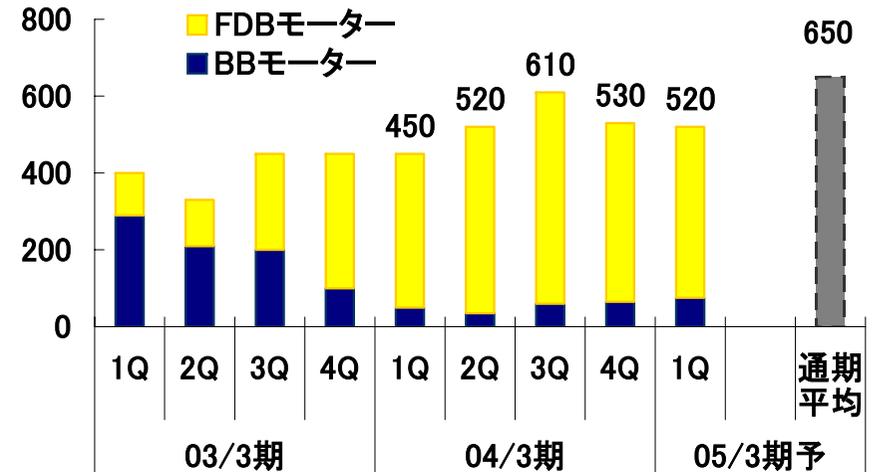
市場動向

- 3.5インチHDDは、高容量が必要とされるデスクPCやデジタル家電向けに引き続き成長見込む。
- モバイル機器向けに2.5インチ及び1.8インチ以下の市場が急拡大。

当社の課題

- ◆ 採算性改善。
- ◆ 2.5インチ以下のFDBモーター 市場への早期参入。
- ◆ 新型FDBモーター製品の受注。

当社HDDスピンドルモーター販売数量推移・見込み
(万台/月)



新型流体動圧軸受ユニット

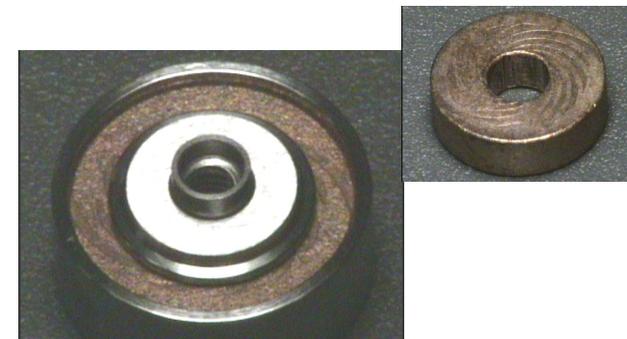
ROF

- 3.5”HDD向け中心。
- ボールベアリングの製造技術を使用し、ボールベアリングの製造ラインで生産。
- 従来品比較で性能向上、且つ、コスト低減が可能。



HMF

- 2.5”以下HDD向けターゲット。
- 日立粉末冶金株式会社と共同開発。
- 焼結材と、動圧発生部に多円弧形状の採用により、小型・薄型モーターに最適。



**2004年5月サンプル活動を開始、
年末までに両戦略商品の量産開始を目指す。**

ディスプレイ周辺部品

R & D

光学関連技術
電子回路技術



フラットパネルディスプレイ(FPD)

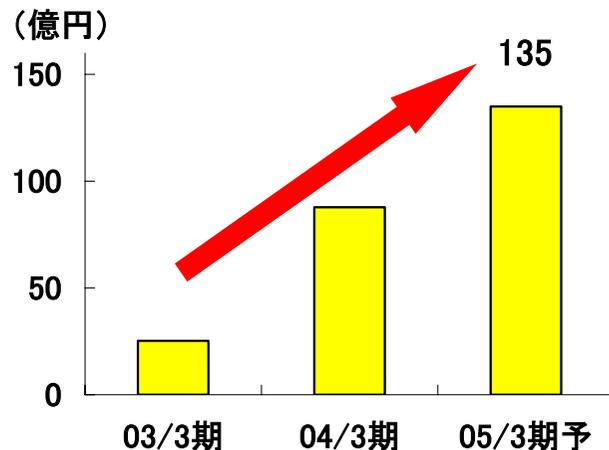
周辺部品事業

- ◇ フロントライト & バックライト …… LED照明の領域
- ◇ バックライトインバーター …… 冷陰極管照明の領域

ライティングデバイス事業

動画対応向けに高輝度・薄型・大型製品を新規投入。さらに受注拡大へ。

当社ライティングデバイス事業売上高



バックライトインバーター事業

今期、PC用液晶ディスプレイ中心から大型液晶TV用へ展開

ミネベア製バックライトインバーターの特徴

高効率 (低消費電力、低発熱)
高信頼性・安全性

自社設計カスタムIC
自社設計トランスフォーマー
独自回路設計

光学技術を中心にした開発技術

フラットパネルディスプレイ(FPD)市場

製品

液晶バックライトインバーター
液晶バックライト・フロントライトアッセンブリ

光学技術

光学設計
光学シミュレーション
光学薄膜技術
光学部品設計
リソグラフィ技術

樹脂成型技術
精密金型加工技術

電子回路技術

パワーエレクトロニクス技術

製品

光学式センサー トルクメーター
軸力センサー

産業用機器市場

ナノテクノロジー
光学・磁性材料技術
構造解析・熱解析技術
バックアップ技術

ミネベア株式会社決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。